

令和 5 年度
秋葉区役所企画事業
上半期実績

秋葉区役所

目 次

① 秋葉区の花と緑にふれあい隊	・・・ 1
② 児童期・思春期の子どもと保護者の支援	・・・ 3
③ アキハ「鉄道物語」	・・・ 4
④ わくわく石油楽習事業	・・・ 6
⑤ 花まる鉢花支援事業	・・・ 7
⑥ アキハウん米推進事業	・・・ 9
⑦ アキハもち麦推進事業 v o l . 2	・・・ 10
⑧ アキハの宝こども探検ツアー	・・・ 11
⑨ アキハスムプロジェクト v o l . 3	・・・ 13

令和 5 年度 秋葉区役所企画事業 事業調書

秋葉区 建設課

1	事業名	[継続] 秋葉区の花と緑にふれあい隊	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 5 年度		
区ビジョン	環境に配慮した潤いとやすらぎのある まち		
事業目的	区の特徴である花と緑に親しむ環境整備や保全活動を区民協働で行うことで、「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」の実現を推進する。		
事業概要	<p>(1) 区民協働での緑花保全の促進 区民協働によるクリーン作戦の開催や除草機械の貸出しにより、地域団体による環境整備活動の促進を図る。また、R403号新津バイパスの道路拡幅予定地を活用し、区民協働による「フラワーロード」を出現させることで区の特徴である花と緑をPRし、花と緑に親しむ意識とシビックプライドの醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働クリーン作戦の実施（新津川・秋葉公園） ・環境整備促進のための機材貸与 ・国道403号フラワーロード実行委員会と協働したフラワーロード事業の実施 <p>(2) 施設の整備 遊歩道の案内サインの設置や更新、トイレの改修などの施設整備を行い、利便性の向上による利用者の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内サインの設置など利便性の向上 		
最終 成果指標 目標	クリーン作戦・遊歩道環境整備等の区民参加者数 1700人		
R2 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R2 年度 <1年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 205人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 144人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 ・新津川水仙球根植え 165人 累計 514人 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 2,500 千円
R3 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R3 年度 <2年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 285人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 207人 ・新津川水仙球追肥、根植え 80人 ・秋葉公園クリーン作戦 49人 累計 621人 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 2,500 千円

1	事業名	[継続] 秋葉区の花と緑にふれあい隊	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 5 年度		
R4 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R4 年度 <3年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 301人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 219人 ・新津川水仙球根植え 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 66人 累計 636人 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 2,500 千円
R5 年度 <4年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 100人 ・フラワーロード種まき作業 50人 ・遊歩道に案内板の設置、公園トイレの洋式化、菩提寺山遊歩道入口駐車場の整備 		
R5 年度 <4年目> 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 (11/5開催予定) ・秋葉公園クリーン作戦 (11/18開催予定) ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 187人 ・フラワーロード種まき作業 62人 ・菩提寺山遊歩道入口駐車場の整備 (R5.9完了) 		
事業費	予算額	6,500 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	14,000 千円	決算合計 7,500 千円

2	事業名	[新規] 児童期・思春期の子どもと保護者の支援	
事業期間	令和 5 年度 ~ 令和 7 年度		
区ビジョン	やさしさがあふれる楽しく元気な まち		
事業目的	子どもに関する課題について、講演会や相談会を開催し、秋葉区の子育て環境の充実を図ります。		
事業概要	<p>秋葉区では不登校の児童数が年々増加傾向にある。要対協ケースについても不登校傾向の児童も多く、悩んでいる保護者を含め社会とのつながりが薄い現状がある。社会で生きづらさを感じている親子が気軽に参加できるような講演会や相談会を開催し、関係機関とも連携しながら、少しでも課題が解決できるよう支援する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校などの子どもの課題に関する講演会 2回 講師：不登校の子供を支援している団体や大学教授など ・不登校などの悩みを抱えている保護者の相談会 3回 相談員：スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど ・進路相談会（学習の力量の確認） 3回 単位制の学校で実績のある講師など <p>【会場】 秋葉区文化会館、新津地域交流センター、新津健康センターなど</p> <p>【関係機関】 秋葉区教育支援センター、秋葉区社会福祉協議会など</p>		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の満足度（80%以上） ・相談会の満足度（80%以上） 		
R5 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の満足度（80%以上） ・相談会の満足度（80%以上） 		
R5 年度 <1年目> 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7月末に講演会及びワークショップを1回開催し、第1部の講演会は44名、第2部のワークショップは33名の参加があった。参加者アンケートの結果、講演会について「満足」、「非常に満足」を合わせた回答数が全体の93%、ワークショップについては、全ての参加者が「満足」以上と回答した。 ・8月25、29日に保護者相談会を開催し、9名の参加。9月23、24日に進路相談会を実施し、3名の参加。いずれも不登校の相談が多く、今後も関係機関と連携してフォローが必要。 		
事業費	予算額	590 千円	決算額 千円
R6 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の満足度（80%以上） ・相談会の満足度（80%以上） 		
事業費	予算額	590 千円	決算額 千円
R7 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の満足度（80%以上） ・相談会の満足度（80%以上） 		
事業費	予算額	590 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1,770 千円	決算合計 0 千円

令和 5 年度 秋葉区役所企画事業 事業調査

秋葉区 産業振興課

3	事業名	[継続] アキハ「鉄道物語」
事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度	
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち	
事業目的	<p>これまでに培った新津の鉄道に関する施設・歴史・人材などの地域資源を、商店街・地域住民・子ども達とともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、「鉄道」を基軸に街づくりに取り組む地域との連携を図り、さらなるまちなか活性化と交流人口の増加を図る。その交流の結節点でもある秋葉区の玄関口、JR新津駅を訪れた方々に秋葉区の情報を届けながら再訪の縁を探る。区内の情報発信・観光案内に携わる企業体の現出を図る。あわせて、令和5年度はJR東日本新潟支社と連携し「マッチングトレイン」企画を提案する。</p>	
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 「にいつ鉄道商店街」（商店街への誘客、交流人口拡大） 2 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）新潟支社との連携事業（にいつ鉄道フェスタなど） 3 阿賀・会津等との観光連携（東北DC対応など） 4 あ！キハ観光案内所運営業務 	
最終 成果指標 目標	<p>鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街 300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人</p>	
R3 年度 <1年目> 成果指標 目標	<p>《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人</p>	
R3 年度 <1年目> 実施状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、にいつ鉄道フェスタが中止となった。そんな中、にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を24回実施した。また、にいつ鉄道商店街などと連携し「TRAIN SUITE 四季島」の出迎えを9回、「SLばんえつ物語」号のお見送りを3回実施した。 新潟市補助事業を活用した「鉄ぶら抽選会」を支援し、抽選回数は3,418回となり、昨年（2,726回）比で25%増加した。 観光連携では、コロナ禍の影響で行事が中止になったが、代わりに磐越西線SL定期運行推進協議会及び阿賀野川ライン観光協会で作成し、沿線の魅力を発信した。 観光案内所の来所者数は10,765名となり、昨年（9,361人）比15%増加した。</p>	
	3,370 千円	決算額 2,867 千円
R4 年度 <2年目> 成果指標 目標	<p>《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人</p>	
R4 年度 <2年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を12回実施。また、商店街などと連携し、「TRAIN SUITE 四季島」の出迎えを3回、「SLばんえつ物語」のお見送りを2回実施 ・ にいつまるごと鉄道フェスタを3年ぶりに開催（8,056人の来場） ・ JR新潟支社、区内商店街、新潟観光協会による「鉄ぶら抽選会」の実施を支援 抽選回数は3,752回となり、昨年度（3,418回）と比較し約10%増加 ・ 阿賀野川ライン観光協会ホームページのリニューアル、磐越西線SL定期運行推進協議会でフォトコンテスト及びスタンプラリーを実施し、沿線の魅力を連携して発信 ・ 観光案内所の来所者数は11,478人となり、昨年度（10,765人）と比較し約7%増加 レンタサイクルの貸し出し数は1,130台となり、昨年度（978台）と比較し約16%増加 	
	予算額 3,484 千円	決算額 3,330 千円

3	事業名	〔継続〕 アキハ「鉄道物語」	
事業期間	令和 3 年度 ～ 令和 5 年度		
R5 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	《目標》 鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人：臨時列車「マッチング・トレイン」参加者を含む) 観光案内所来所者数 10,000人		
R5 年度 〈3年目〉 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を6回実施。また、商店街などと連携し、「TRAIN SUITE 四季島」の出迎いを1回、「SLばんえつ物語」のお見送りを1回実施 ・ JR新潟支社、区内商店街、新津観光協会による「鉄ぶら抽選会」の実施を支援 ・ 磐越西線SL定期運行推進協議会でフォトコンテスト及びスタンプラリーの実施及び阿賀野川ライン観光協会ホームページで沿線の魅力を連携して発信 ・ 観光案内所の来所者数は7,358人となり、昨年度同時期(7,373人)と比較しほぼ同数 レンタサイクルの貸し出し数は762台となり、昨年度同時期(748台)と比較し約2%増加 		
事業費	4,490 千円	決算額	千円
事業費合計	予算合計 11,344 千円	決算合計	6,197 千円

令和 5 年度 秋葉区役所企画事業 事業調査

秋葉区 産業振興課

4	事業名	〔継続〕 わくわく石油楽習事業	
事業期間	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区の丘陵では、古くから石油が採掘され、それを暮らしに利用してきた。この「石油文化」について、小学生を中心に普及啓発を進め、理解を深めてもらう。		
事業概要	石油の世界館友の会、石油の世界館指定管理者と連携し、リニューアルされた石油の世界館、一の沢地層観察コース、国指定史跡新津油田金津鉱場跡の施設など現地見学を含めた講座を開催する。あわせて一般向けについても、イベント等に合わせて開催。		
最終 成果指標 目標	小学生、一般向け合計600人の参加（3年で12校）		
R4 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取り組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月中旬から楽習事業を実施する予定です。 今年度は5校の小学校（結小学校、新関小学校、新津第一小学校、小合小学校、金津小学校の6年生251人）が参加を予定しています。 目標 150人の参加		
R4 年度 〈1年目〉 実施状況	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取り組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月～11月に楽習を実施しました。 参加校5校 6年生251名の参加（結小学校、新関小学校、新津第一小学校、小合小学校、金津小学校）		
事業費	予算額	924 千円	決算額 800 千円
R5 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取り組みとして、石油の世界館友の会と連携し、事業を実施する。 R5年度は5校の小学校（6年生250人）からの参加を目標に取り組みます。		
R5 年度 〈2年目〉 9月末 実施状況	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取り組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月中旬から楽習を実施します。 今年度は5校の小学校（新津第三小学校、小合小学校、矢代田小学校、新関小学校、結小学校の6年生299人）が参加を予定しています。		
事業費	予算額	890 千円	決算額 千円
R6 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	250人の参加		
事業費	予算額	890 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	2,704 千円	決算合計 800 千円

5	事業名	〔継続〕 花まる鉢花支援事業																																						
事業期間	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度																																							
区ビジョン	可能性を生み出し・育て・活かす まち																																							
事業目的	新潟市産鉢花の安定流通に向けた流通社会実験(令和4年度で終了) 市内外での鉢花宣伝PR 県内外花きバイヤーを対象とした鉢花商談会の開催																																							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市産鉢花の安定流通に向けた流通社会実験(令和4年度で終了) 新日本海フェリーあざれあ号での秋葉区産アザレア展示PR 卒園・入園式で秋葉区産の鉢花の展示PR 新潟県花木振興協議会と新潟県花き出荷組合と連携した県内外バイヤー鉢花商談会の開催 																																							
最終 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 遠方市場流通量 前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること (令和4年度で終了するため、令和5年度に報告) 																																							
目標	<ul style="list-style-type: none"> 鉢花見本市 鉢花見本市における出荷金額の向上。(基準年度の出荷金額を上回る。) ※基準年度は令和4年度に実施した見本市での出荷金額とした。(コロナ禍でR2, R3未実施) 																																							
R4 年度 <1年目> 成果指標	予算組替「鉢花流通安定化社会実験(3年目)」 <ul style="list-style-type: none"> 遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること 鉢花商談会 鉢花見本市における出荷金額の向上。 																																							
R4 年度 <1年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 遠方市場への鉢花流通安定化社会実験(3月末) <table border="1" data-bbox="328 1317 1418 1552"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和3年</th> <th colspan="2">令和4年</th> <th colspan="2">前年対比</th> </tr> <tr> <th>出荷金額</th> <th>出荷ケース数</th> <th>出荷金額</th> <th>出荷ケース数</th> <th>出荷金額</th> <th>出荷ケース数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道</td> <td>19,070,137</td> <td>5,105</td> <td>18,364,376</td> <td>4,842</td> <td>96%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>岡山</td> <td>23,105,435</td> <td>5,243</td> <td>15,802,485</td> <td>3,901</td> <td>68%</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>広島</td> <td>34,865,177</td> <td>8,248</td> <td>30,940,919</td> <td>7,418</td> <td>68%</td> <td>74%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 例年、下半期から花需要が高まることから、出荷増を期待していたところ、伸び悩んでしまい達成することは出来なかった。 令和4年度後半から、外出の機会が増加したことで家庭における鉢花需要が弱まったため。 新日本海フェリー両ターミナル及び船内でアザレアのPRを行い、幼稚園の入園・卒園式でアザレアの展示を行った。 8月に区内で、2年ぶりに県外バイヤーを招き商談会を開催した。また、10月には、県外の商談会に出店した。 							令和3年		令和4年		前年対比		出荷金額	出荷ケース数	出荷金額	出荷ケース数	出荷金額	出荷ケース数	北海道	19,070,137	5,105	18,364,376	4,842	96%	95%	岡山	23,105,435	5,243	15,802,485	3,901	68%	74%	広島	34,865,177	8,248	30,940,919	7,418	68%	74%
	令和3年		令和4年		前年対比																																			
	出荷金額	出荷ケース数	出荷金額	出荷ケース数	出荷金額	出荷ケース数																																		
北海道	19,070,137	5,105	18,364,376	4,842	96%	95%																																		
岡山	23,105,435	5,243	15,802,485	3,901	68%	74%																																		
広島	34,865,177	8,248	30,940,919	7,418	68%	74%																																		
事業費	予算額	3,890 千円			決算額	2,913 千円																																		

5	事業名	[継続] 花まる鉢花支援事業	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
R5 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢花見本市 鉢花見本市における出荷金額の向上。(基準年度の出荷金額を上回る。) 		
R5 年度 〈2年目〉 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の鉢花見本市は8月に開催され、会場装飾等に支援を行った。出荷金額については集計中です。 ・10月上旬に新日本海フェリーの両ターミナル、両船内でアザレアの展示を行う。 ・10月上旬に開催される遠方市場での商談会に参加。 ・2月下旬には、幼稚園の卒園・入園式でのアザレア展示を行う。 		
事業費	予算額	1,340 千円	決算額 千円
R6 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢花見本市 鉢花見本市における出荷金額の向上。(基準年度の出荷金額を上回る。) 		
事業費	予算額	1,212 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	6,442 千円	決算合計 2,913 千円

令和 5 年度 秋葉区役所企画事業 事業調査

秋葉区 産業振興課

6	事業名	〔継続〕 アキハウ ^{まい} ん米推進事業		
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 5 年度			
区ビジョン	可能性を生み出し・育て・活かす まち			
事業目的	全国的に主食用米の需要減少が顕著になっている現在、水田単作地帯の当区において、秋葉区の特徴を生かした米の需要喚起について取組を行う。			
事業概要	<p>食生活についての意識が定着し始める年代を持つ家族を対象に、秋葉区で行われている米作りから、米への疑問、簡単レシピの紹介、米の消費について周知を行い、消費拡大の基盤を形成する。</p> <p>(仮称) ご飯がすすむおかずレシピブックの作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 秋葉区内の米づくり (JA新津さつきの米作り) 2. 米のQA (米の栄養価、健康性) 3. 簡単レシピ集 (秋葉区版ごはんが進む料理、炊き込みご飯) 4. コメの消費 (米の品種による味の比較、米の豆知識) 			
最終 成果指標 目標	周知冊子を区内市立幼稚園、小学校、中学校に配布し、配布前後で100件ほどを対象にアンケートを行い「米についての関心及び意識」の理解が進んだ回答が8割以上となることを目標とする。また、周知冊子を配布・配置しPRに努めるとともに、需要喚起につながる事業に取り組む。			
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	周知冊子 (レシピブックを主とした冊子の作成) を8,000部作成する。			
R4 年度 <1年目> 実施状況	周知冊子配布前のアンケート (小学校2校計4年生児童103人、中学校2校計1年生105人) を実施し、米に関心を持ったと回答した割合は約4割であった。 「秋葉区版ごはんがすすむおかずレシピブック (以下レシピブック)」を作成 (12,000部) し、区役所や出張所、JA直売所などに配置したほか、区内の小中学生、市立幼稚園児に配布しPRに努めた。			
事業費	予算額	646 千円	決算額	506 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	周知冊子配布後のアンケート (対象: 区内市立小学校児童、中学校生徒の各100件ほど) を行い「米についての関心及び意識」の理解が進んだ回答が8割以上であることを確認する。 また、周知冊子を配布・配置しPRに努めるとともに、需要喚起につながる事業に取り組む。			
R5 年度 <2年目> 9月末 実施状況	周知冊子配布後のアンケート (小学校2校計5年生児童102人、中学校2校計2年生106人) を行い、お米についての理解 (関心・知識) が進んだ割合は61.7% (配布前: 40.0%) となり、配布前より理解が進んだ割合が増えた。 また、周知冊子を引き続き区役所やJA直売所などに配置したほか、区内の小学校1年生に配布しPRを行った。 10月28日に区産の新米をご飯がすすむおかずとともにお弁当にした試食会を開催する。			
事業費	予算額	460 千円	決算額	千円
事業費合計	予算合計	1,106 千円	決算合計	506 千円

令和 5 年度 秋葉区役所企画事業 事業調査書

秋葉区 産業振興課

7	事業名	[新規] アキハもち麦推進事業vol.2	
事業期間	令和 5 年度 ~ 令和 7 年度		
区ビジョン	可能性を生み出し・育て・活かす まち		
事業目的	機能性に注目が集まる健康食「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指し、農業振興及び販売・消費拡大等に必要な支援を行う。		
事業概要	<p>第1期（R2～R4）が終了し、新たなステージ（第2期：R5～R7）に移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フードメッセ出展、首都圏で開催されるイベント等、区内外でPRを行い、販路拡大を図る。 ・ 学校給食との連携、総合学習の開催、販促グッズの作成・配布等により消費拡大に努める。 ・ もち麦二次加工品の新商品開発を支援する。 ・ 農福連携の取組（ステップファーム）を支援する。 ・ 生産者と消費者との農業交流体験を実施する。 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：13（R3年度11） ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：11 t（R3年度10.3 t） 		
R5 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：11 ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：10.5 t 		
R5 年度 〈1年目〉 9月末 実施状況	<p>Akihaもち麦プロジェクトと連携して、首都圏でのPR販売、うららこすど周年祭への出店、小学校への総合学習など8事業を実施し販売促進、広報宣伝を行った。</p> <p>また、ステップファームの実施に併せ、もち麦について学ぶ大人向け座学を3回開催した。</p> <p>今後は、フードメッセへの出展、健康フォーラム等への出店などを行い、もち麦のよさをPRしながら販路拡大を図る。</p>		
事業費	予算額	1,210 千円	決算額 千円
R6 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：12 ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：10.7 t 		
事業費	予算額	1,011 千円	決算額 千円
R7 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：13 ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：11 t 		
事業費	予算額	1,210 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	3,431 千円	決算合計 0 千円

8	事業名	[継続] アキハの宝こども探検ツアー	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 5 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。		
事業概要	<p>◆対象 小学生を対象</p> <p>◆内容</p> <p>「チャレンジ！あきは体験隊」 ※地域と連携して歴史や文化を体験 各地区の施設見学、まち歩き体験など</p> <p>「あきはっ子里山体験隊」 ※里山を舞台に自然・歴史・文化を体験 自然観察、古代生活体験、産業遺産の見学など</p> <p>「秋葉教育懇談会」 ※令和3年度まで 区内教育関係者等を対象にして区の個性を活かした子どもの教育環境について 外部講師を交え、意見交換を行う。</p> <p>※秋葉区教育懇談会は、令和4年度から秋葉区地域総務課の事業に移管しました。</p>		
最終 成果指標	<p>◆達成指標 2講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
R2 年度 <1年目> 成果指標	<p>◆達成指標 2講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
R2 年度 <1年目> 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/10（土）9:30~11:30 ・新津駅構内と新津本町のまち歩きを実施 ・参加者 小学4~6年生 8名（ほかにガイド3名、スタッフ等5人） <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/24（土）9:30~11:30 ・弥生の丘展示館でまが玉づくりと火おこし体験 ・参加者 小学4~6年生 16名 <p>【秋葉教育懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/1（火）14:00~16:00 		
事業費	予算額	350 千円	決算額 78 千円
R3 年度 <2年目> 成果指標	<p>◆達成指標 2講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
R3 年度 <2年目> 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/7（土）9:30~12:00 ・小須戸町屋（薩摩屋と周辺地区）のまち歩きと凧作りを実施 ・参加者 小学4~6年生 11名（ほかにスタッフ等8名） <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/22（日）9:30~12:00 ・新潟県立植物園で植物採集と植物標本作りを実施 ・参加者 小学4~6年生 15名（ほかにスタッフ等5名） <p>【秋葉教育懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止 		
事業費	予算額	350 千円	決算額 56 千円

8	事業名	[継続] アキハの宝こども探検ツアー	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 5 年度		
R4 年度 〈3年目〉 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆達成指標 2講座以上を実施 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実 		
R4 年度 〈3年目〉 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊（おもしろサイエンスin新潟薬科大学）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/23（土）10:00~12:00 ・新潟薬科大学で牛乳からキーホルダー作成を実施 ・参加者 小学4~6年生 20名 （ほかにスタッフ等6名） <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/6（日）9:30~11:30 ・秋葉公園で自然と楽しむネイチャーゲームを実施 ・参加者 小学3~6年生 12名 （ほかにスタッフ等7名） 		
事業費	予算額	195 千円	決算額 69 千円
R5 年度 〈4年目〉 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆達成指標 2講座以上を実施 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実 		
R5 年度 〈2年目〉 9月末 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊（八帖二間で和室体験・コースターづくり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/19（土）10:00~12:00、八帖二間（新津本町2） ・和室やりノペーションについて学び、端材を用いたコースター作成を実施 ・参加者 小学4~6年生 4名 （ほかにスタッフ等7名） <p>【あきはっ子里山体験隊（里山の植物観察と植物のしおりづくり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/15（日）9:15~11:45、石油の里公園・里山ビジターセンター ・遊歩道を散策しながら植物観察を行い、見つけた植物の葉などでしおり作成を実施する予定 		
事業費	予算額	170 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1,065 千円	決算合計 203 千円

9	事業名	〔継続〕 アキハスムプロジェクトvol.3	
事業期間	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特長・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人財の発掘・育成・活用、移住・定住のための仕組みづくりに取り組む。		
事業概要	<p>県外の移住希望者へ向けた移住・定住に関する継続的な情報提供と区民の地域への愛着形成を促進する。市外・県外在住者へ向けた定期的なオンライン移住相談会の開催と継続的な秋葉区の情報発信を行う。同時に、アキハスムプレーヤーなどの活動団体を支援するためのスキームの構築を行い、区民が主体となり秋葉区へ人を呼び込む取り組みの実施や様々な広報媒体を活用した情報発信を自ら行うことで、地域に対する愛着形成と人財育成を図る。</p> <p>また、地域が教育に積極的にかかわることで地域課題の解決の学習を通じて、児童・生徒に地域アイデンティティの醸成を図る。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会 ○移住相談コンシェルジュの配置運営 ○動画特集サイトの構築と発信 ○Akiba女子など自主的に活動する団体の支援と新たな人財の発掘 ○移住モデル地区（金津里山地区）支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○移住相談コンシェルジュの配置運営 ○自主的に活動する団体を支援できるプラットフォームの構築 ○コミュニティ・スクールの活性化と地域の教育力向上 		
R4 年度 <1 年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○自主的な活動を行う団体の支援としくみづくりの検討 ○移住モデル地区の支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
R4 年度 <1 年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○県外から秋葉区へ移住してきた方4名による座談会を開催した ○移住に関心・興味のある人に対してオンライン移住相談会を開催した ○自慢したい・誇らしい秋葉区を2部門で動画コンテストを実施し、区の魅力の再発見に繋げた ○Akibaきらきらプロジェクトで、新たなメンバーを募集し人財発掘することでプロジェクトの活動活性化を図った。 ○CS基盤整備事業「講演会」と教育懇談会「グループワーク」を同時に実施し、区内の教育関係者と地域の関係者によるコミュニティスクールへの主体的な関わりを促すともに関係者のネットワークづくりを行った 		
事業費	予算額	2,910 千円	決算額 2,840 千円
R5 年度 <2 年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○移住相談コンシェルジュの配置 ○自主的な活動を行う団体の支援とプラットフォームの構築と運用 ○移住モデル地区の支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
R5 年度 <2 年目> 9 月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン移住相談会（9月30日） ○移住相談コンシェルジュの配置（7月29日） ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施（8月22日） ○移住モデル地区の支援 		
事業費	予算額	6,050 千円	決算額 千円

9	事業名	[継続] アキハスムプロジェクトvol.3	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
R6 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○移住相談コンシェルジュの配置と運営 ○自主的な活動を行う団体の支援とプラットフォームの運用 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
事業費	予算額	5,790 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	14,750 千円	決算合計 2,840 千円